

【最終案内】2024年度第47回ドイツ現代史学会開催のご案内【2024年9月28日（土）・29日（日）開催】

2024年度第47回ドイツ現代史学会

日程：2024年9月28日（土）・29日（日）

会場：1日目⇒福岡大学2号館221教室

※ 対面のみ／参加費500円／懇親会なし／事前登録不要

2日目⇒九州大学西新プラザ大会議室ならびにZoom

※ 対面とオンライン併用／参加費無料／懇親会あり／要事前登録

1日目：9月28日（土）：13:00～15:30

シンポジウム「比較史の観点からみる『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？』」（七隈史学会・福岡大学人文学部との共催）

会場：福岡大学2号館221教室（福岡市城南区七隈8-19-1）

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/aboutus/facilities/map.html>

○ 著者より

田野大輔（甲南大学）「ナチスの「相対化」と比較史の可能性—本書の問題提起—」

小野寺拓也（東京外国語大学）「『歴史実践』・『パブリック・ヒストリー』と本書—教育の視点から—」

○ コメント

松井康浩（九州大学）「ソ連史の視点から」

大澤武司（福岡大学）「日中関係史の視点から」

伊藤亜希子（福岡大学）「ドイツの異文化間教育の視点から」

○ 著者リブライと討論

2日目：9月29日（日）：10:00～17:00

午前：自由論題報告

午後：合評会 水野博子／川喜田敦子編『ドイツ国民の境界—近現代史の時空から—』（山川出版社、2023 年）

会場：九州大学西新プラザ大会議室（福岡市早良区西新 2-16-23）ならびに Zoom

<https://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>

10:00～10:10

開会にあたっての諸注意

10:10～12:20

自由論題報告

10:10～11:10

直井大河（明治大学）「1940 年代ウィーンにおけるナチ人種政策の展開—「混血婚家族」の迫害の諸相から—」

司会：川喜田敦子（東京大学）

（10 分休憩）

11:20～12:20

櫻田美月（会社員、東京女子大学大学院博士前期課程修了） 「ナチズムとジードルング—レーゲンスブルクの事例における空間と生活の理想—」

司会：北村厚（神戸学院大学）

12:20～14:00

昼休み

14:00～16:30

合評会 水野博子／川喜田敦子編『ドイツ国民の境界—近現代史の時空から—』（山川出版社、2023 年）

評者：衣笠太朗（神戸大学）／割田聖史（青山学院大学）

リプライ：編者(水野博子・川喜田敦子)及び執筆者（調整中）

フロアとの討論

16:30～17:00

今年度運営委員会からのご挨拶

会計報告

次年度開催校・運営委員のご紹介等

17:30～19:30

懇親会（対面のみ／参加費：有職者は 5,000 円、非有職者・学生は 3,000 円）

会場：ひなたぼっこ（[福岡市早良区西新 1-8-10](#)）

※ 会場から歩いて 5 分程度です

参加登録：2024 年 9 月 25 日（水）締切

・ 1 日目のみ参加

⇒参加登録は不要です。当日、会場の受付で参加費 500 円をお支払いください。

・ 2 日目も参加、あるいは 2 日目のみ参加

⇒下記フォームから登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/MPW7gGL1HX3bhATx6>

【問い合わせ先】

2024 年度第 47 回ドイツ現代史学会運営委員会

今井宏昌（九州大学）

doitsugendaishi47@gmail.com

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝